

研修目標と研修内容について

職種名「臨床検査技師レジデント(超音波検査コース)」

### 1 概要

生理検査(超音波検査中心)分野における、がん医療に精通した臨床検査技師を養成する。

生理検査以外にも臨床検査業務全般に必要な基本的技術の習得として、検体検査、感染管理、精度管理、総合画像診断学、細胞形態学に関する幅広いがん専門知識の習得を図る。

### 2 研修での到達目標

#### 1) 一般目標

がん専門病院に求められる臨床検査業務の習得

#### 2) 行動目標

- ・超音波検査を中心にしたがん専門知識・技能の習得
- ・臨床検査業務全般に関する専門知識の習得
- ・感染症学、検体検査業務に関するがん専門知識の習得
- ・感染管理・精度管理・総合画像診断学に関するがん専門知識の習得
- ・病理診断・細胞診断学に関するがん専門知識の習得

### 3 実習内容

選択課程以外の研修として、多職種業務、検体、感染症、輸血、病理なども履修することができる。

また、各部署での講義やカンファレンスにも自由に参画し、がん専門病院における臨床検査業務に必要とされる基礎知識や専門技術を習得する。

- a) がん疾患全般的な基礎知識の習得
- b) がん疾患を中心とした超音波検査と報告書作成技術の習得
- c) 総合画像診断学(C T、MR I、P E Tなど)としての比較検討
- d) 心電図、肺機能などの生理検査業務の習得
- e) 個々のがん疾患における異常データの取り扱い、腫瘍マーカーの理解と解釈
- f) がん治療における臨床検査業務と感染症管理の把握
- g) 組織・細胞診検体の取り扱い方、特殊染色・免疫染色・遺伝子検査の見学